



☆ぼんだ組「どうなるのかな？」

朝の会で、「ありのくろちゃん」という絵本を読んだときのことです。その後の、
 戸外活動はどうなるのでしょうか？



あいの巣、ほじくったらどうなる？

早速、ブランコ前であいの巣を発見した子ども達。

※昨年は、砂場セットのスプーンやシャベルなどであいの巣を掘っていた子ども達。今年はどう変化しているかな？

あいがいっぱい出てきた～

観察力・探究心・知った情報を他児に伝え共有する力

棒を見つけてきて、穴に棒を入れてアリの巣を掘りはじめた子ども達。
 ただ掘るだけではなく、「これ、ありさんの餌だよ」「これはありさんのお布団ね」と言って友だちとやり取りしながら観察。するとSくんが「ありさんは葉っぱは食べないよ。お菓子、食べるんだよ」と周りの子に教えていました。絵本の内容を理解し、周りの子に伝えている姿に昨年の掘るだけの行動から、次へステップアップしている姿に成長を感じました。



あいは、お菓子を食べるんだよ

★いす組「むし、むし、むし～」



怖いけど見たい

滑り台に止まった虫が怖くて、滑り下りれないで困っていたMちゃん。そこにうさぎ組のRくんが虫を見つけ、興味を示しました。Mちゃんも怖いけど興味はある様子。飛んで行った虫が草に止まっている様子を眺め、二人で「むし!!」と興奮しています。

その後もRくんの後を追って虫を見つけようとしています。虫が飛んでいると「むし！むし！」と大興奮。二人で同じ気持ちです。また、Rくんの真似をして虫を入れる容器も手にし、虫を捕まえる気持ちも膨らんできましたが…。

どこにいる？



観察する力、探索意欲、好奇心、工夫する力、自分の思いを伝える力

結局、虫を捕まえるまでには至りませんでした。しかし、異年齢児の関わりのお陰で、いつもは滑り台で遊んでいたMちゃんの遊びの世界がより広がったのかなと思いました。子どもの思いを受け止め丁寧に関わったり、安全で活動しやすい環境を整えたりしながら、異年齢児の活動も大事にしていきたいと感じました。

